豊中市文化財調査報告　第36集

蛍池北遺跡（宮の前遺跡）

第12次発掘調査報告

－弥生時代中期方形周溝墓群の調査－

平成7年（１９９５年）3月

蛍池北遺跡調査団
豊中市教育委員会

序　　文

豊中市では、弥生時代を代表する遺跡として千里川の両岸にわたって所在する勝部遺跡が周知される。ここに報告する蛍池北遺跡（宮の前遺跡）もまた、1969年の本格的な調査以来、弥生時代中期の大規模集落として学史的にも著名な遺跡である。このほか豊中市でこれまでに発見された弥生時代の遺跡は、30数箇所を数える。

これまでにかかわった遺跡調査の中で、とくに印象に残ったものをあげると、まず当遺跡の近辺では、弥生中期末の環濠集落の一部ともみられる大溝がみつかった蛍池西遺跡、少し南に下ると火災で屋根の焼け落ちた竪穴式住居内に、当時のままの生活態様を留めたと思われる土器群や木製農具などが出土した箕輪遺跡があり、それからさらに千里川を渡って対岸にある新免遺跡では、数多くの竪穴式住居のほか吉備地方との関係を伺わせる人面付き土製品が出土している。また新免遺跡の南にある山ノ上遺跡では、直径６cmの小形倣製鏡が出土しており、畿内地方での出土がこれまで希少とされてきた中国漢代の模作品と思われ、九州地方から畿内地方への文化移入を如実に示すものとして看過できない貴重な資料となっている。

さて今回調査した蛍池北遺跡（宮の前遺跡）は、1969年、大阪中央環状線建設に先立ち、宮の前遺跡調査会によってはじめて大規模な発掘調査が行われた。その結果、弥生時代の住居跡10基、方形周溝墓20基、それに土壙墓、壺棺などが明らかにされ、一躍衆目を集めることとなった。今回の第12次調査は、この調査地の南側に隣接し、東西約15m、南北約45mにわたって発掘したものである。

調査の結果については、以下の本文に詳細に記すところであるが、かいつまんで言えば、弥生時代中期の方形周溝墓、木棺墓、土壙墓からなる墓域の一角を明らかにしたことに尽きよう。これはさきの調査でも明らかにされた居住域と墓域の関係を有機的に考える上でも貴重な資料と言える。また１基の土壙墓より朱が検出されたこと、方形周溝墓に廃棄、供献された多量の土器の意義など、解明すべき課題は多いが、今後とも視野を広げて検討を進めるよう心掛けていきたい。

調査にあたり、ご支援いただいた多くの方々に対し、衷心より謝意を申し上げます。

平成７年３月30日

蛍池北遺跡調査団
団　長　亥野　彊

序　　文

豊中市は、北部は千里丘陵から続くなだらかな丘陵地形が広がり、南部には肥沃な平野が広がるなど、豊かな自然環境を有しています。この緑ふかい自然環境の中で、いにしえより数多くの人々が住みつづけ、個性ある歴史と文化を育んでまいりました。

ここに報告する蛍池北遺跡も、古くは旧石器時代から人の足跡を残し、以後弥生、古墳、奈良と、各時代の生活の営みの跡が調査で明らかにされています。なかでも弥生時代では、大阪空港滑走路の下からみつかった勝部遺跡と並んで、豊中を代表する弥生遺跡の一つとして、昭和40年代より研究者の間においても注目されてまいりました。多数の住居跡とともに、数珠状に連なってみつかった方形周溝墓群は、近畿地方における弥生時代集落のイメージをまさに彷彿とさせるものでした。

豊中市では開発にともなう遺跡の発掘調査が依然つづいています。開発と遺跡の保存とは古くて新しい、大変困難な課題であります。しかしながら、調査で得られた数々の成果というものが、原始以来つづいてきた豊中の歴史の歩みを着実に明らかにしてきたことも事実です。このような調査は、開発にあたる事業主をはじめ、市民の方々の多大な協力がなければ決して遂行できるものではありません。このたび刊行することになりました当報告書も、現地調査以来6年間の歳月を経て、ようやく刊行の運びとなりましたが、ここに調査に協力していただきました方々に対する責務の一端を果たせたものと考えております。今後とも、大変地味な作業ではありますが、展示会、講演会など諸々の文化財事業とともに、基礎資料の刊行にも努めてまいりたいと思います。

最後になりましたが、土地所有者、工事関係者の皆様方をはじめ、調査の遂行に多大な労をおとりいただいた亥野団長に対し、厚く感謝の意を申し述べる次第です。

平成7年3月30日

豊中市教育委員会
教育長　青木　伊織

例　　言

1．本書は、大阪府豊中市蛍池北町３－116－１で実施した、蛍池北遺跡第12次発掘調査の報告書である。

2．蛍池北遺跡の名称は、豊中市の遺跡台帳に登録されたもので、実態としては池田市側に所在する宮の前遺跡と連続する一つの遺跡である。ただし本文の記述にあたっては蛍池北遺跡を優先させ、必要に応じて宮の前遺跡と併記することとした。

3．発掘調査は、信和開発株式会社の依頼を受けて、豊中市教育委員会社会教育課内に事務局を置き、蛍池北遺跡調査団を組織して実施したものである。

4．現地調査は、蛍池北遺跡調査団団長　亥野　彊（神戸国際大学講師）の指導のもと、社会教育課職員　服部聡志が担当した。

5．調査地点の国土座標は第Ⅵ系に属する。本文挿図中の方位はすべて真北で、磁北は真北に対してN－6°20′－W、座標北はN－18°58′－Eである。

6．出土遺物の整理作業は、弥生土器の整理を大阪大学大学院生　大庭重信（現財団法人大阪市文化財協会）が中心となって行ない、木村　淳（元豊中市教育委員会）がこれを引き継いだ。石器は磨製石器を大阪大学学生　高木芳文（現兵庫県教育委員会）、打製石器を社会教育課職員　清水　篤が担当した。

7．本書の作成にあたっては、本文弥生土器の記述を大庭、木村、観察表を木村、遺物のまとめを大庭、石器の記述を清水が執筆し、遺構ほかを服部が担当した。また調査の内容に関わる考察一編を付章に掲げた。本書の編集は服部、大庭が行なった。

8．調査の実施にあたっては、大阪大学教授　都出比呂志氏、四天王寺国際仏教大学名誉教授藤沢一夫氏より助言、指導をいただいた。また池田市側の調査成果については、池田市教育委員会　田上雅則氏より、出土遺物については㈶大阪市文化財協会　田中清美氏、㈶大阪文化財センター　松山　聡氏よりご教示をいただいた。

本　文　目　次

序　文　　蛍池北遺跡調査団団長　　亥野　彊
序　文　　豊中市教育委員会教育長　青木伊織

第１章　遺跡の位置と環境
第１節　地理的環境……1
第２節　歴史的環境……3
第３節　過去の調査……7

第２章　調査の経緯と経過
第１節　調査にいたる経緯……11
第２節　調査の経過（付；調査日誌抄）……11

第３章　調査の成果
第１節　調査の方法……13
第２節　弥生時代の遺構、遺物……14
１、遺構の概要……14
２、方形周溝墓……14
３、土坑……61
４、溝……66
５、石器……71
第３節　奈良時代の遺構、遺物……79
１、遺構の概要……79
２、掘立柱建物……79
３、溝……81
第４節　調査成果のまとめ……84

付章　考察　　弥生時代中期の方形周溝墓にみられる大量土器廃棄について
－蛍池北遺跡の事例から－　　大庭重信……91

土器観察表……101

図　版　目　次

図版 1　a，調査区全景（南から）
　　b，調査区全景（北から）
図版 2　a，方形周溝墓 1 全景（北西から）
　　b，　同　北側周溝（西から）
　　c，　同　土器出土状況（西から）
図版 3　a，方形周溝墓 2 全景（西から）
　　b，　同　東側周溝（北東から）
　　c，　同　土器出土状況（北から）
　　d，　同　土器出土状況（東から）
図版 4　a，方形周溝墓 3 全景（北から）
　　b，　同　全景（南から）
図版 5　a，方形周溝墓 3　北側周溝土器出土状況（南から）
　　b，　同　西側周溝土器出土状況（南から）
図版 6　a，方形周溝墓 3　北側周溝内　土坑10、11（南から）
　　b，土坑10（南から）
図版 7　a，方形周溝墓 4 全景（南西から）
　　b，　同　東側周溝土器出土状況（南から）
　　c，　同　東側周溝土器出土状況（北東から）
　　d，　同　南側周溝土器出土状況（東から）
図版 8　a，方形周溝墓 5 全景（南西から）
　　b，　同　北側周溝土器出土状況（北から）
　　c，　同　北側周溝土器出土状況（西から）
　　d，　同　東側周溝土器出土状況（北から）
図版 9　a，方形周溝墓 6 全景（真上から）
　　b，　同　東側周溝土器出土状況（南から）
図版10　a，方形周溝墓 6　西側周溝北端部土器出土状況（東から）
　　b，土坑13（西から）
図版11　a，土坑 1（南から）
　　b，土坑 3（南から）

図版12　a，土坑４（南西から）
　　b，土坑12（南から）
図版13　a，土坑５（南西から）
　　b，　同　　土層縦断面（北西から）
図版14　a，土坑５　北側横断面（南西から）
　　b，　同　　南側横断面（南西から）
図版15　a，溝２（西から）
　　b，　同　　土器出土状況（南から）
図版16　a，溝４（東から）
　　b，　同　（西から）
図版17　a，方形周溝墓３、溝４土層断面（Ｂライン、西から）
　　b，方形周溝墓６、溝４土層断面（Ｆライン、西から）
　　c，方形周溝墓４・６、溝４土層断面（Ｈライン、西から）
図版18　溝３北端部土器出土状況（上；南東から、下；北東から）
図版19　方形周溝墓１　周溝出土土器
図版20　方形周溝墓２　周溝出土土器
図版21　方形周溝墓３　北側周溝出土土器
図版22　方形周溝墓３　北側周溝出土土器
図版23　方形周溝墓３　西側周溝出土土器
図版24　方形周溝墓３　西側周溝出土土器
図版25　方形周溝墓３　南側周溝出土土器
図版26　方形周溝墓４　東側周溝出土土器
図版27　方形周溝墓４　南側周溝出土土器
図版28　方形周溝墓５　北側周溝出土土器
図版29　方形周溝墓５　北側周溝・西側周溝・西側周溝南端・南側周溝出土土器
図版30　方形周溝墓６　東側周溝出土土器
図版31　方形周溝墓６　北側周溝出土土器
図版32　方形周溝墓６　北側周溝出土土器
図版33　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器
図版34　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器
図版35　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器
図版36　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器

図版37　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器
図版38　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器
図版39　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器
図版40　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器
図版41　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器
図版42　方形周溝墓６　西側周溝出土土器
図版43　方形周溝墓６・７、土坑13出土土器
図版44　各土坑出土土器
図版45　溝２、溝４出土土器
図版46　溝４出土土器
図版47　剥片(1) 主要剥離面
図版48　剥片(2) 主要剥離面
図版49　二次加工のある剥片(1)
図版50　二次加工のある剥片(2)
図版51　スクレイパー、ドリル
図版52　ピエス・エスキエ
図版53　石鏃、ナイフ形石器
図版54　石庖丁
図版55　奈良時代柱穴出土土器・溝３出土土器
図版56　溝３出土土器

挿　図　目　次

第１図　遺跡の位置（１：50,000）……２
第２図　周辺遺跡の分布（１：40,000）……４
第３図　調査地点の位置（１：5,000）……７
第４図　中国自動車道、中央環状線建設地の遺構分布と第12次調査地点……８・９
第５図　竪穴住居（第13次調査）……10
第６図　円墳（第17次調査）……10
第７図　調査地区割り図（１：400）……13
第８図　調査区全体図……15・16
第９図　方形周溝墓１　平面図・断面図（１：80）……17

第10図　方形周溝墓１　北側周溝土器出土状況（１：30）……17
第11図　方形周溝墓１　周溝出土土器（１：４）……18
第12図　方形周溝墓２　平面図・断面図（１：80）……19
第13図　方形周溝墓２　土器出土状況（１：30）……20
第14図　方形周溝墓２　周溝出土土器（１：４）……21
第15図　方形周溝墓３　平面図・断面図（１：80）……23・24
第16図　方形周溝墓３　北側周溝土器出土状況（１：30）……25
第17図　方形周溝墓３　西側周溝土器出土状況（１：30）……26
第18図　土坑10　平面図・断面図（１：30）……27
第19図　土坑11　平面図・断面図（１：30）……27
第20図　方形周溝墓３　北側周溝出土土器（１：４）……28
第21図　方形周溝墓３　西側周溝出土土器（１）（１：４）……29
第22図　方形周溝墓３　西側周溝出土土器（２）（１：４）……30
第23図　方形周溝墓３　南側周溝出土土器（１：４）……31
第24図　方形周溝墓４　平面図・断面図（１：80）……32
第25図　方形周溝墓４　東側周溝土器出土状況（１：30）……33
第26図　方形周溝墓４　東側周溝出土土器（１：４）……34
第27図　方形周溝墓４　南側周溝出土土器（１：４）……35
第28図　方形周溝墓５　北側周溝出土土器（１：４）……36
第29図　方形周溝墓５　西側周溝土器出土状況（１：30）……37・38
第30図　方形周溝墓５　平面図・断面図（１：80）……37・38
第31図　方形周溝墓５　北側周溝土器出土状況（１：30）……37・38
第32図　方形周溝墓５　西側周溝・西側周溝南端・南側周溝出土土器（１：４）……39
第33図　方形周溝墓６　北側・西側周溝土器出土状況（１：30）……41・42
第34図　方形周溝墓６　平面図・断面図（１：80）……41・42
第35図　方形周溝墓６　東側周溝土器出土状況（１：30）……41・42
第36図　土坑13、ＳＰ－ 500・502 平面図・断面図（１：30）……43
第37図　土坑13、ＳＰ－ 500・502 出土土器（１：４）……44
第38図　方形周溝墓６　東側周溝出土土器（１：４）……45
第39図　方形周溝墓６　北側周溝最下層出土土器（１：４）……46
第40図　方形周溝墓６　北側周溝出土土器（１）（１：４）……48
第41図　方形周溝墓６　北側周溝出土土器（２）（１：４）……49

第42図　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器（１）（１：４）……50
第43図　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器（２）（１：４）……51
第44図　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器（３）（１：４）……52
第45図　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器（４）（１：４）……53
第46図　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器（５）（１：４）……54
第47図　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器（６）（１：４）……55
第48図　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器（７）（１：４）……56
第49図　方形周溝墓６　西側周溝北端一括出土土器（８）（１：４）……57
第50図　方形周溝墓６　西側周溝出土土器（１：４）……58
第51図　方形周溝墓７　平面図・断面図（１：80）……59
第52図　方形周溝墓７　北側周溝土器出土状況（１：30）……60
第53図　方形周溝墓７　北側周溝出土土器（１：４）……60
第54図　土坑１　平面図・断面図（１：30）……61
第55図　土坑３・４　平面図・断面図（１：30）……62
第56図　土坑５　平面図・断面図（１：30）……63
第57図　土坑７・８　平面図・断面図（１：30）……64
第58図　各土坑出土土器（１：４）……65
第59図　溝２　平面図・断面図（１：60）……66
第60図　溝２出土土器（１：４）……67
第61図　溝４と方形周溝墓の関係……68
第62図　溝４、方形周溝墓３・４・５・６土層断面……69
第63図　溝４出土土器（１：４）……70
第64図　スクレイパー、ドリル（１：１）……75
第65図　ピエス・エスキエ（１：１）……76
第66図　石鏃、ナイフ形石器（１：１）……77
第67図　石庖丁（２：３）……78
第68図　掘立柱建物２　平面図・断面図（１：80）……80
第69図　奈良時代柱穴出土土器（１：４）……80
第70図　掘立柱建物３　平面図・断面図（１：80）……81
第71図　溝３出土土器（１：４）……83
第72図　方形周溝墓の分布（１：500）……86
第73図　蛍池北遺跡における弥生土器の様相……89